

国際観光都市としての機能整備に関する研究会

# 中部国際空港 セントレアを 取り巻く現状等について



*centrair*



中部国際空港株式会社  
Central Japan International Airport Co., Ltd.

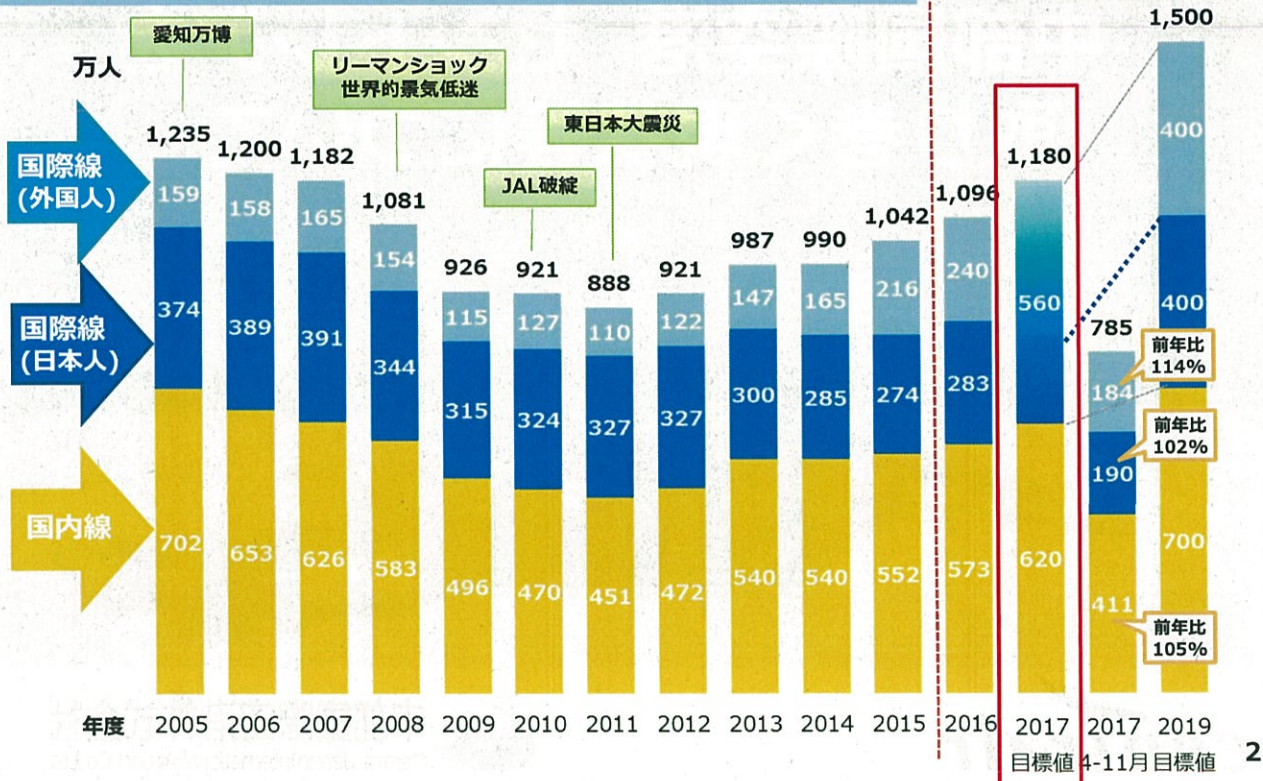
## 1. ネットワークの現状

# 全体旅客数 (国際線・国内線)

第1Q-第3Q前年比：106%

(国際線(外国人) 114%、国際線(日本人) 102%、国内線105%)

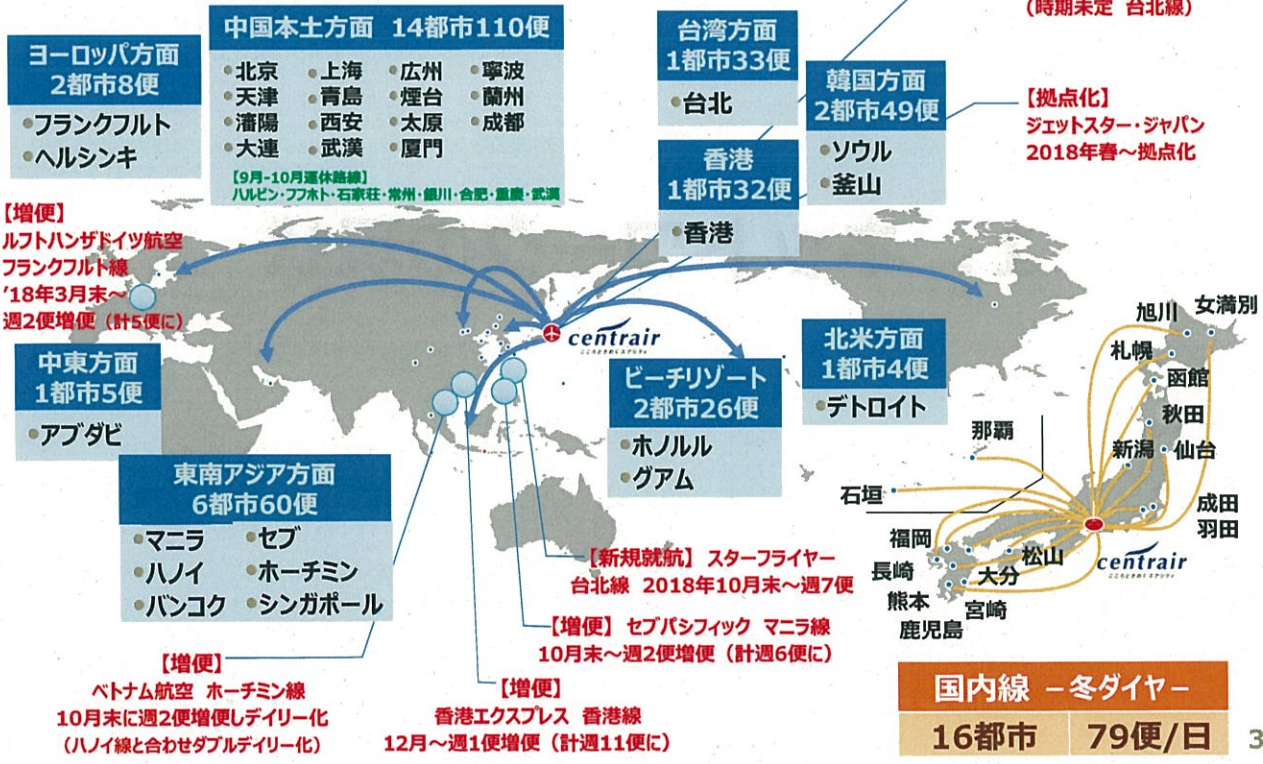
セントレア 中期経営戦略



# 旅客便ネットワーク

## 国際線 - 冬ダイヤ -

30都市 327便/週



# アクセス充実(2次交通ネットワーク)

## 目指すべき姿

航空+2次交通の融合深度化による外国人個人旅行者の主要観光地への容易なアクセス実現

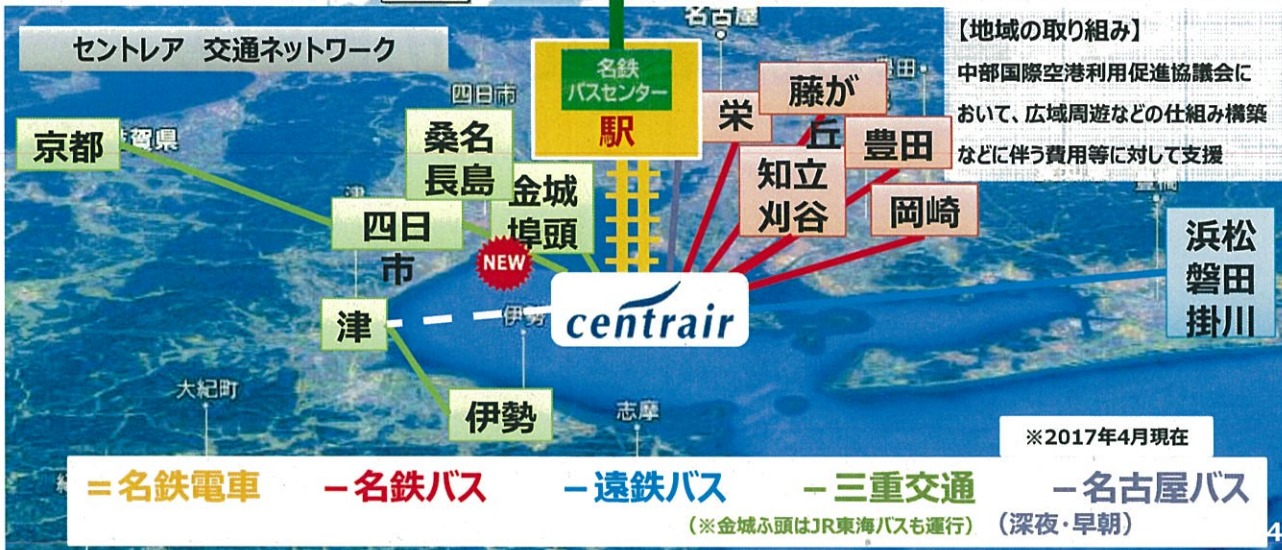
## 名鉄バスセンター 交通ネットワーク



## 今後の課題

名鉄バスセンターでの高速バス乗り継ぎ強化で個人旅行者の主要観光地へのアクセス利便性向上  
(施策例: セントレアリムジン [14便/日]との乗継切符造成等)

## セントレア 交通ネットワーク



【地域の取り組み】  
中部国際空港利用促進協議会において、広域周遊などの仕組み構築などに伴う費用等に対して支援

# インバウンド旅客向け各種サービス



## Tourist Information & Service

- 多言語対応スタッフによる問い合わせ対応
- 各種パンフレットによる観光情報の提供
- 水・お湯の無料提供等



## Central Japan Travel Center

- 鉄道・バスなどのアクセスチケットの販売(クレジットカード販売にも対応)
- 訪日外国人向けツアー・宿泊施設の予約・販売
- 日本政府観光局(JNTO)認定 カテゴリー3観光案内

## ラッピングサービス

- 手荷物をストレッチフィルムでラッピング



## SAME DAY BAGGAGE DELIVERY

- 荷物を持たずに昇龍道エリアを観光できる手荷物の当日配送サービス



SIMカードの自動販売機の設置  
情報通信端末の充電設備の増設

## 2. 更なる機能強化への取組み

### 持続的成長を見据えた空港機能強化

**フォーポイントバイシェラトン名古屋 中部国際空港 (客室約319室)**  
2018年11月開業予定

**東横イン2棟目建設 (客室約1,300室)**  
2017年12月竣工予定

**カプセルホテル (TUBE Sq)**  
2017年4月OPEN

**セントレアホテル新棟建設 (客室約150室)**  
2018年秋開業予定

**大規模展示場**  
2019年秋オープン予定  
事業主体：愛知県  
敷地面積：約287,000㎡、展示面積：約60,000㎡

愛知県有料道路運営等事業の優先交渉権者による国際ブランドホテルの誘致 (150~300室)

**LCC向け新ターミナルビル**  
2019年度上期供用開始予定

**ボーイング787初号機 (ZA001) 展示を中心とした新たな商業施設『FLIGHT OF DREAMS』**  
2018年夏オープン予定

7

# 持続的成長を見据えた空港機能強化 『新ターミナルビル整備』

① 新ターミナルビル  
② FLIGHT OF DREAMS による新たな賑わいゾーン  
③ 愛知県国際展示場

② FLIGHT OF DREAMS  
① 新ターミナルビル  
1F: 到着エリア 2F: 出発エリア

将来ターミナル用地  
将来エプロン用地  
商業エリア  
国内線  
国際線

港  
鉄道駅  
駐車場

**【新ターミナルビル施設概要】**

- ✓年間旅客取扱数：国際300万人、国内150万人
- ✓延床面積：約45,000㎡
- ✓構造：2階建て（1F到着エリア、2F出発エリア）
- ✓スポット数：10 ※LCCのビジネスモデルに沿ったスポット配置  
⇒航空機の自走出発が可能、国際線・国内線の切り替えが可能
- ✓今年度内着工、2019年度上期中供用開始予定

8

# 787初号機（ZA001）をメインとした新商業施設『FLIGHT OF DREAMS』

～ 次世代を担う人材育成、地域への貢献、地域産業の発展に ～



《魅力的な商業エリア：コンセプトは『シアトル』》

- ・アメリカ国外へ初出店 **オフィシャルボーイングストア**
- ・アメリカンハンドクラフトビールの草分け的存在で、シアトルで大人気の老舗店がレストラン&バーで日本初出店  
**THE PIKE BREWING RESTAURANT & BAR**
- ・シアトル発祥のグローバルコーヒーチェーン **スターバックスコーヒー**
- ・その他、シアトルや米国北西部由来のブランド・店舗誘致を実施中



4/27起工式実施



12/17飛行機の大移動



スケジュール

- 2017年 4月27日・・・起工式
- 2017年12月17日・・・飛行機の大移動**
- 2018年度上期・・・内装工事
- 2018年度夏頃・・・オープン**

### 3. 地域と連携した取組み

10

#### 地域連携の推進(昇龍道プロジェクト)

**目的** : 官民連携した、①誘客プロモーション、②受入環境レベルアップ、③地域経済活性化

**構成員** : 国、自治体、民間事業者等 [1,966団体 (平成29年5月末時点)]

**事務局** : 中部運輸局観光部、北陸信越運輸局観光部、中央日本総合観光機構 (※1)

※1 5月に中部広域観光推進協議会 (2012年3月設立) から、広域連携DMO (※2) である同機構に移行

※2 DMO : Destination Management/Marketing Organization

当初目標を前倒して達成し、現在は「平成32年までに外国人  
宿泊者数延べ1400万人達成」が目標(協議会設立時 : 178万人)



大村知事twitterから引用



中部運輸局HPから引用



#### 昇龍道プロジェクト (海外での活動)



11

# CHITA CAT プロジェクト

知多半島の地域活性化を目的にイオンモール常滑と中部国際空港と知多半島・常滑地域の趣旨に賛同する自治体、企業、団体等との共同プロジェクト。（2015年11月発足）

りんくう地区、セントレア、知多半島を一体エリアと捉え、垣根なく行き来できる環境構築や、各施設等の利用促進、共催イベントの実施など、保有する有形、無形の資産をフル活用した取り組みを共同推進することにより、地域の魅力向上に積極的に寄与することが目的。

## ■プロジェクト名の由来

|                     |        |
|---------------------|--------|
| 「 <b>CHITA</b> 」    | 知多半島   |
| 「 <b>C</b> entrair」 | 中部国際空港 |
| 「 <b>A</b> EONMALL」 | イオンモール |
| 「 <b>T</b> OKONAME」 | 常滑     |



12

## 地域とともに発展する空港を目指して



アイアンマン70.3



あいちの地酒 試飲販売



武将のふるさと愛知



あいちの花展示

13

# 空港における知多地域の情報発信・取組例



グリーンカーテン（半田農業高校）



SORAビジョン等での観光情報発信



ポスター・パンフレットの掲出



まるは食堂



季節旬菜の店あぐりす



えびせんべいの里

知多産品取扱店舗